

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、13～21℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり0.8トンの水揚げで、前週の40%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり1.6トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり1.9kgの水揚げで、前週の3.8倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり190kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり8kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.5kgの水揚げ（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり2.8kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり6.5kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり1.61kgの水揚げで、前週の39%（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/10～12/14の5日間）沖合イカ釣り船（船凍船）は、佐渡沖及び三陸沖とも時化で操業せず。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>